関大
発行所
関西大学校友会
大阪市大淀区長柄中通二丁目
編集発行人　長柄　金吾
電話堀川㊟代表2072番
振替口座大阪 55594番

部長会、常議員会で検討

各部でもすでに準備進む

昭和三十三年度校友会定例総会は八月二十七日開催の総務部会の席上立案され、そのあと九月四日の部長会でも審議され十一月二日が予定されていたが、さる十一日開催された常議員会で再検討された結果、総務部案を変更して大学祭が行われる十月十八日（土）午後一時から千里山第三学舎講堂で開催することに決定した。その結果、各部では目前の総会を控え準備を開始した。

本年度の定例校友総会の会催については去る八月二十七日天六学舎で開かれた総務部会の席においてはじめて立案されたが開催日は十一月九日（日）または十一月二日（日）のいずれかにすることに意見が集まり、検討のすえ二日連休の内の一日の方が出席率がよいのではないかとの意見で十一月二日が決定された。場所については昨年大阪中之島の中央公会堂で開催したが、今年は千里山に第三学舎が完成したのでこの新築第三学舎講堂で行う案に一致した。

総会次第についても総務部会で一応その骨子が検討されたが今年は役員の改選が行われないので例年通りの前年度事業報告、前年度校友会会計収支決算報告承認に関する件を上提、その承認を得ることのほか、音楽演奏、アトラクションなどが予定されている。また今年度は会則の一部改正案が提出されることになっている。総務部会で検討されたこの校友総会案はその後九月四日の部長会でも総務部長から説明があって再検討されたが、総務部案のうえに講演会を行ってはとの案がでたが、あわせて常議員会で検討されることになった。

常議員会は九月十一日午後五時から堂ビル清交社で開催され三十三名出席のもとに総会案を討議した。その結果、開催日については根本的に改めて十月十八・九両日千里山学園で大学祭が開かれるが、その一日、十月十八日に決定した。その他総会次第については別に特筆すべきことはなく会則に規定された各項の承認を受けるが、今年度総会に提出される議題の内重要なものに会則の一部改正があげられる。これについて常議員会では総務部案を検討した結果、一部字句の修正をし、さらに総務部に検討を一任することに決った。これらの改正されるのは第二章会員についてであり改正案は次の通りである。

第二章　会　員

第五条　左の資格を有するものは本会の会員になることができる。

一、学校法人関西大学の設置する高等学校以上の学校、または前身である法人の設置した学校、もしくは関西法律学校を卒業したもの

二、推せん校友

三、学校法人関西大学の設置する学校において現在役員および専任の教職にあるもの。

第六条　本会は会費をおさめたものをもって組織する。

第七条　会費は次の二種とする。

1　終身会費金参千円也

2　年会費金参百円也

年会費は毎年七月末日までに納めなければならない。また会費未納者は退会者と見做す。

第八条　新会員は入会と同時に入会金として金参百円を納めなければならない。

×　×

なお常議員会の席上、代議員会開催の日程を協議した結果、九月二十一日に開催することになった。

本年度定例校友総会　10月18日に開催

千里山で大学祭と二重奏

一高も同窓会総会

11月15日六時　産経会館で

関西大学第一高等学校同窓会（会長・塚田正則氏）では本年度同窓会総会の日程を検討していたが、八月末の役員会において次の通り決定した。すなわち来る十一月十五日大阪櫻橋・産経会館で一高一中文化祭が開催されるがそれにひきつづいて午後六時から開催することになった。

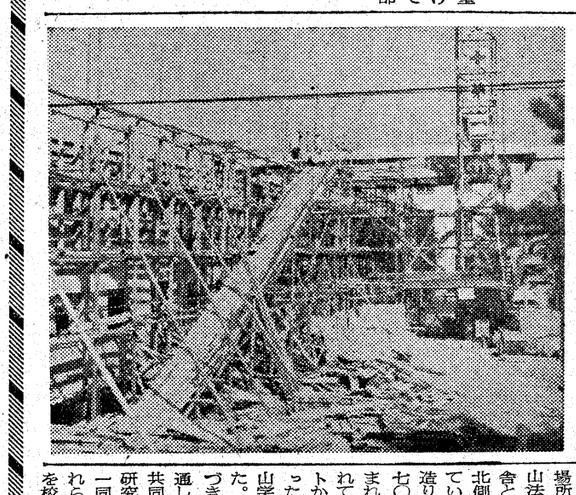
講演と軽音楽の会を松阪で開く

校友会では昨年岡山市において講演会を開催し大成果を収めたのに続き、本年は比較的近くにありながら盲点とされていた三重県を選び、講演と軽音楽の会を開くことを計画、南勢支部と協力し準備を重ねた末、九月六日午後二時から松阪市公会堂で盛大に行われた。

この準備のため校友会では組織部から宮崎部員が再度でかけて計画をたて、組織部で十分検討を加える一方南勢支部でも湯浅支部長はじめ、後藤小倉両副支部長、時田幹事長ら役員多数が奔走、その結果校友会、南勢支部、松阪市教育委員会の共催で九月六日午後二時から松阪市公会堂に於て「関西大学講演と軽音楽の会」を開催したこの会には地元校友、一般市民、各高校生ら約七百人が来場、盛大に開始された。まず湯浅支部長の開会の辞があり、引き続き校友会本部から出席の櫻本副会長が挨拶と同時に校友会、大学の現状を説明した。そのあと講師として出席の門上組織部長が「欧州・中近東をめぐりて」と題し、世界のホット・コーナー中近東の問題などを中心に欧州視察について約四十分にわたる講演を行った。

門上氏の講演のあと、予定が一部変更されて軽音楽にうつった。軽音楽は関西大学軽音楽部から衣川祐三とロッキープラザーズ、衣川祐三とシルバー・ムーン・ハワイアンズが出演、ダイアナ、クレージー・ラブ、センド・ミー・サム・ラビング、ホロホロカ、アイナハウ、アロハオエなど千数曲を二時間にわたり演奏、ヤンヤの拍手喝采をうけた。軽音楽部のバンドマンたちはここで大阪でのスケジュールのため、ただちに支部で用意してもらったバスに乗りこみ聴衆の惜しむなかを帰阪した。

会場ではつづいて講師長柄金吾氏の「中小企業経営について」と題する講演で、豊富な資料に基ずき中小企業経営の諸問題をのべ、集った学生、一般市民、中小企業経営者に多大の参考を供した。長柄氏の講演のあと、関西大学教授山崎紀男氏が「アメリカ人の考えかたと日本人」と題してアメリカ人の合理性、打算性など、を日本はじめ各国の民俗と比較し、興味深く種々の例をあげて講演された。山崎氏は大学生活をアメリカで過されたあとアメリカ人の献立には日々大変苦労するという。朝七時ごろから夜九時ごろまで全部の時間を〝家〟に捧げ家族の潤活油となってキリキリ舞いだ。自分の時間がない▼大学は教職員と事務職員から構成されている。教授、先生方が主人なら、事務職員は妻君役、学の内外がスムーズに運ぶためには何といっても事務職員の力が物をいう。母校では教職員（大学のみで）これに対する事務職員は学生と先生方の間にあって誠に御苦労である。しかし家でもよい妻君の下ではよき家庭が営まれる。子供はすくすく伸びる。目立たない仕事だがこの事務職員の力で大学の評価が上がる場合が多い。校友諸君に大いに協力と理解を願いたい。もちろん職員の自覚をまつのはいうまでもない▼病中雑感のひと駒です。



第三学舎の完成によって経・商学部研究室はその偉容を誇るようになったが、かねてから建造が計画され五月二十日の地鎮祭を皮切り順調に着工した法文学研究室はその後場所などはすでに紹介したが千里山法文学舎北棟の空地で、第一学舎とは廊下で接続され、大学院の北側を西に西研究室の前までのびている。四階建鉄筋コンクリート造りで一部に地階がつくが建坪一七〇余坪にはすでに足場が高く組まれ、休みなくセメントが打こまれている。鉄筋を組む音、セメントかくはん機の音は二カ月にわたった夏期休暇中もたゆみなく千里山学舎の静寂を破って響きつづけた。なおこの工事は今後もひきつづき続けられ今年中に完成する見通しであるが、暖房設備のついた共同研究室三室を含む七十室近い研究室の完成は教授はじめ関係者一同が待望している。また一方これらの研究室によって大きい成果を校友は期待している。

着々　工事進む法文研究室

休暇中も静寂破る工事音

小川忠蔵先生

関大講師小川忠蔵氏は本年五月半頃から健康勝れず、回生病院に入院加療中であったが薬石効なく八月八日逝去された。享年八十三歳。告別式は十日午後三時から四時まで西宮市甲風園の自宅で執行され、本学から岡野学長はじめ教職員多数参列し、神戸大学、六大都市関係者など多数が会葬、うたた故人の余徳が偲ばれた。

英訳では第一人者なんだよ」というのを聞いて、その頃から先生を尊敬し師事したのでした。

関西大学が先生を講師に迎えたのは明治四十年でそれ以来関甲、予科、学部などに引続き今春五月十日まで出講された勤続五十年の歩みはまことに偉大なもので、これと先生の健康と精神力と、そしてその尊い学力と御人格によるもので、お世話になった多数関大の校友諸氏と共に、心から敬弔の意を表し、御冥福を祈って止まない次第です。

明治四十年来関大及び同付属関西甲種商業の講師として実に死の直前まで五十年間勤続、その恪勤と懇切な指導には学園関係者一同の尊仰するところであった

三島一高校長談　なつかしい恩師を失って淋しいことです。思えば私が先生の教えを受けた最初は大正五年で関甲三年生の時でした英会話を習ったのですが先輩級友の誰かれとなく「小川先生は和文

校友会本部記録

八　月

五日　事業部会・午後六時、清交社

九日　大阪国税局支部総会・午後一時半、大阪国税局第一会議室・大月会長、長柄副会長、森川教授出席

十一日　部長会・正午、清楓クラブ

十五日　広報部、機関紙「関大」第三千九号（八月号）発行

十八日　総務部正副部長会・正午

十八日　財務部会・午後六時、清交社

二十日　広報部会・午後六時、天六学舎評議員室

二十一日　組織部会・午後六時、天六学舎評議員室

二十六日　財務部会・午後五時、天六学舎評議員室

二十七日　総務部会・午後五時、天六学舎評議員室

二十八日　都島支部発会式・午後六時半、桜宮幼稚園・大月会長、櫻本、長柄両副会長出席

学内人事異動

▽昭和三十三年八月四日付　臨時雇（見習）白木正市、療養休務を解く▽同八月二十日付　嘱託大沢寛次郎、事務嘱託を解く▽同八月三十日付　嘱託下村松次郎、願により嘱託を解く

▽昭和三十三年九月七日付　庶務課長心得（書記）村上仙三、関西大学職員任免規定第十六条第一号（停年）により職を解く▽同月八日付　村上仙三、事務を嘱託し庶務課勤務を命ずる▽同九日付、傭員後藤昭子、願に依り職を解く

雨の日の

こと数年来始めて病を得て三日間床についた減多に家にいたことのない者が一日中寝転んでいると本でも読む以外に方法がない。ところが三日も寝ているとどんなに健康なときはついぞ思ったこも見なかった家庭の環事に気がついて改めて妻君のその日その日の苦労に頭を下げた▼主人が出勤したあとは近所の夫人連と語合ったら市場への買物もリクリエーションの一つだ。暑い午後は午睡でもむさぼっていよう等々が主人の妻君観だが▼なかなかもって、奥の間から見ているとそれでも三十分も暇がない忙しさだ。子供達について主人の朝食が終ると九時近い。家の掃除がすんだと思うと洗たくにかかっている。干物を終えると市場行だ。すぐ昼食である。御用聞きが何回も戸をたたく。昼のテレビも見ではおれない。午後二時を過ぎると子供が腹がへったと何かをねだる▼干物を取入れて、ミシン台に座ってしばし、豆腐屋の鈴の音にそろそろ晩の支度が始まる。酒好きな主人への献立には日々大変苦労するという。朝七時ごろから夜九時ごろまで全部の時間を〝家〟に捧げ家族の潤活油となってキリキリ舞いだ。自分の時間がない▼大学は教職員と事務職員から構成されている。教授、先生方が主人なら、事務職員は妻君役、学の内外がスムーズに運ぶためには何といっても事務職員の力が物をいう。母校では教職員（大学のみで）これに対する事務職員は学生と先生方の間にあって誠に御苦労である。しかし家でもよい妻君の下ではよき家庭が営まれる。子供はすくすく伸びる。目立たない仕事だがこの事務職員の力で大学の評価が上がる場合が多い。校友諸君に大いに協力と理解を願いたい。もちろん職員の自覚をまつのはいうまでもない▼病中雑感のひと駒です。

論壇

一、本紙発刊四十号を迎えて

関西大学が創立七十周年記念式典を挙行したのは昭和三十年十一月であった。校友会としても母校七十周年記念行事の一環的意義に適わしい仕事として、母校と校友に関するニュースの発表や情報、消息の報道によって学園並びに校友会のPRの使命を果したい念願から、同年三月に開かれた校友会常議員会の決議によって本紙の発刊が決定し、編集委員として、長柄金吾、大石雄一郎、三島律夫、佐伯五郎、神屋敷民蔵の五名が委嘱されて、発刊の準備に着手した。そこで題号の選定には相当悩んだ。学園に関係ある報道紙として、既存のものに「関西大学学報」があり、一部学生の刊行紙に「関西大学新聞」がある。純然たる校友の機関紙として情報、消息のための報道と使命とするなら関大校友新聞でもよいのであるが、苟くも新聞として又第三種郵便の認可あるものとする以上は、母校関大全学園に関する事項、校友及び校友会に関する事項を記事内容とするのではあるが、この領布はこれら学園、校友、学生の範囲に限定することなく、広く社会大象に及ぼして、もって母校、学生校友をアピールするという広大雄渾な目標から編集委員会は種々検討の結果「関大」に決定し、校友会機関紙承認を得た次第にして号を重ねた今日から顧りみて、良い題号であり、紙名であったと悦んでいる。

校友会の機関紙として、PR紙の必要なことは早くより論議されまた校友会役員有志の間にも寄り寄り発刊の下相談ができて、常議員会にも再三提案検討が行われたがその都度問題になったのは編集担当者の決定定期刊行紙としての維持継続の容易ならぬこと、発行費用の負担などであったが、昭和二十九年秋の総会において、母校七十周年記念行事に呼応して、校友会の飛躍的発展計画行事が論議され、機関紙の発行も考えられて他大学のものなど取寄せて研究中の所へ突如として突き付けられたのは大塚正雄氏を編集発行人とする「関大校友新聞」であった。そこで校友会としても最早グズグズして居られないと踏み切って本紙創刊号を出したのが昭和三十年五月一日であった。その後大塚氏及び同氏を補佐していた岩本久氏とも談合の結果前記「関大校友新聞」をも円満に吸収することができて、本紙が唯一の機関紙として号を重ねて今四十号を迎えた。本紙創刊の悩みも大塚、岩本両校友の情熱が多分の踏み切り役となっていたことなどを想起すると、ともに現在本紙が校友会（報部）の担当編集に移行して発刊の趣旨に合致程を願み、更に全学園、全校友の声の広場、意見の広場として、拡大PR成果と、方向及び理念統一の使命に本紙の発展の利用重要度を高め一段充実発展を祈って已まない。

二、伝統と学風

家風といい、学風という言葉は或は封建的古風に聞えるかも知れない。然しながら家風といい、学風は一朝一夕に成立するものではない。永い伝統を積み重ねて現在に流れる一筋の風である。現実の実在でなければならない。然も内に自覚と自負があり、外に客観的抽象的承認がなければならない。関西大学は創始者の甲核、児島惟謙の唱えた「正義を権力から守れ」という誠に民主々義に徹した建学の精神があるそして官僚イズムを容れない商工産業都市の市民のために正義に徹した学問を教授する創立者の血液が伝義されている。これを初代学長（当時は校長）吉田一士に初まって今の第十八代岡野学長に継がれている。実業市民の正義を権力から守る庶民の要望に応え、庶民に必要なる実際的学問を教授する「庶民の大学」、これが関西大学の学風である、従って官吏養成の大学でもなければ、学問のための学問をする大学でもない、実社会に必要なる産学科学、生活科学の学問をする大学である筈だ。岩崎前学長は児島惟謙のもとに結集せよとゝ関大ルネサンスを叫び、北村徳太郎氏は「本学は友愛の源泉であり、知性の道場であり、文化の殿堂である」と唱えた。関西大学が一庶民の大学」を学風として学問の在り方の灯火となり道標を示している。産業都市大阪の市民は苦悩している。日本の産業は動揺している。国際関係は平和を祈りつつも絶えざる対立と桔梗を続けている。千里山から放たれる光は大阪の現実を救い日本の現状を狙い、国際社会の現実に奉仕するであろう。実社会に直ちに役立つ工業技術員養成の方針を掲げて設置された工学部を加えて総合大学の偉容を誇る関大は古き歴史に最先端の新らしい現実的学問を教授する百万庶民の大学としての学風にマッチする教育方針に日々練成が続けられている。

然しながらこの伝統と学風を象徴し、視覚に受け入れる、床しさをしのぶ施設を欠いている。近代建築の学舎、広大なる運動場、十万坪の環境を誇る千里山学園に七十年の昔をしのぶ何物もない。東大に赤門がある皇福田には大隅夫妻の像や時計台があり、慶応には福沢翁をしのぶ数々のものがある。

七十周年記念式典には数々の資料が展示され、学生も父兄も、これが関大の歴史かと認識を新たにしたものだった。七十年史も刊行され、七十周年小史画報も出されたのに、未だに記念館、資料館の一つもない。住友家寄贈の学舎も感謝の威徳館も姿を消した千里山学園の開拓者山岡順太郎翁の銅像も失われた。学生に七十年の歴史と伝統を植え付け、母校の床しき誇りを感得さすことは決して意義ではない筈だ。こうした校友の声の結集は関大七十年の歴史を目で識る施設を並んでいる。

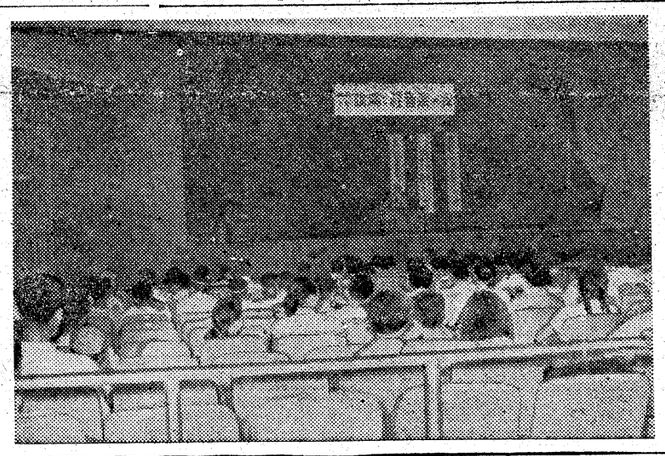
常、代議員会で申合せ

常議員は三千円　代議員は年会費共千円

本年度付役員寄付

さる六月十三日大阪堂島・堂ビル内「清交社」で開催された常議員会席上、校友会の財政的基礎確立のため本年度も金三千円也の寄付を申合せたが、それにひきつづいて七月五日開催の代議員会でも懇親会の席上年会費を含めて金壱千円の寄付の申合せを行った。

この申合せにともなって校友会では大月会長名で改めて依頼状を常議員、代議員全員に送付、本部から集金人が訪問することになりすでに大阪市内はじめている。校友会では集金人が依頼に参上した折は格別の御配慮を賜わりたいと望んでいる。



多数の聴衆を集めておこなわれた阪市での講演会＝市公会堂で

眼鏡検定
メガネ
大学堂
心斎橋筋
(27) 8086
大一生命ビル専門大店
阪神百貨店5階

お座敷　北京料理
天山閣
生玉境内　TEL㊥5060・4828・2285

6年6月制の最短コース
割引債のゴールドプラン
毎月1万円づつのご投資で
6年6ヵ月で100万円……
（資料贈呈）
ワリコー・ワリショー
ワリノー・ワリチョー
利廻り　年6分6厘余
期間1年・利息先取・無記名
大和證券
大阪・東区・今橋二　電話㊥731～4
梅田・戎橋・布施・尼崎・京都・和歌山・神戸・姫路

同窓会に、御商談に、大阪から一番近い
温泉郷、同窓の御方には特別割引
国際観光旅館
錦溪温泉油屋
営業主（昭19卒）山田　清
南海高野線三日市町下車スグ
（ナンバより45分）
電話河内長野　㊥338・356
大阪案内所（77）859㊥0

ミリオンオーダー
紳士服
¥15,000～¥20,000
大同毛織・御幸毛織・日本毛織第一流国産生地を使用
仮縫付上下
大臣賞に輝く最高位の技術
片野洋服店
本社・北浜三電㊥0565～7
大阪駅前店・第一生命ビル専門大店
☆大阪有名店加盟店
☆日本信販加盟店
☆大阪信販加盟店

ジュピターカーボン紙
帝国カーボン紙株式会社　取締役社長　北原元茂

ペンの王様ライオン
スラスラ書けて永持ちのする
ライオンペン

皆さまと共に栄えて40年
創業40周年
大和銀行
信託併営・資本金44億円
本店　大阪市東区備後町2・店舗全国主要都103カ店

皆さまの
家庭を、事業を護る
同和火災海上
社長　岡崎真一

フジサワ
3gチューブ入200円
トリコマイシンS
初めて出来た
2つの抗生物質による
綜合水虫薬
水虫にきく抗生物質
今までの水虫薬は殆んどが化学薬品で中には試験管の実験ではよく効いても実際の治療では体液のために殺菌力が弱められるものが沢山ありました。ところがトリコマイシンは抗生物質ですから体液の影響をうけずに水虫の原因（白癬菌）に強い殺菌力を持ち、すばらしい効きめを現わします。
新しい綜合水虫薬の誕生
水虫はむれやすく、バイ菌がはいって化膿しがちで、そのため非常になおりにくくなります。そこで化膿をおこすバイ菌に強い殺菌力をもつ抗生物質として医界に定評あるケミセチン（クロラムフェニコール）をトリコマイシンに配合した初めての綜合水虫薬　トリコマイシンSが生れました。トリコマイシンSは水虫の原因（白癬菌）と化膿性のバイ菌を同時に殺す一石二鳥の水虫薬です。
適応症　水虫・いんきんたむし・しらくも等
・冊子「水虫の新しい治療法」御希望の方は大阪市東区淡路町藤沢薬品トリコS係宛新聞名御記入の上御申し込み下さい
大阪・東京　福岡・札幌　藤沢薬品

あれから5の支部から

◇暑い夏の陽が照りつける中で関西大学校友会の各支部はその◇暑さにめげず数々の活動を記した。大阪国税局が八月九日に◇五十名参集して総会を開いたのをはじめ、大阪市内第十九番◇目の支部として大阪都島支部が八月二十八日に発会した。ま◇た南支部では趣味の会が本格的な活動をはじめ、甲子会では◇会員谷岡登氏の藍綬褒章授章を記念して祝賀会を開くなど、◇校友総会も近づき、気候も〝天高く馬肥ゆる〟候になるにつ◇れて各地では支部の活動もますますかんになるだろう。◇

市内 19番目の支部誕生
都島支部の結成なる

写真㊤＝都島支部発会式風景と㊦挨拶する斎藤支部長

大阪市内の支部はすでに十八区に結成され、余すところ四区となりそれぞれ準備が進められていたがそのうち都島支部がさる八月二十八日午後六時半から同区内桜宮幼稚園で発会式を開いた。

会はまず開会の辞…というところだが司会者の手違いで佐伯二郎氏の経過報告ではじまった。佐伯氏は発会に至るまで再三準備会を開き他の支部に見られない特色をもった支部としたいと思っている…とその意図と計画をのべた。ここで和やかな拍手で開会の辞をのべることになり発起人吉田虎雄氏が「再三にわたる準備を重ねた結果やっとここに発会式を開くことができるようになりました。幸、今日は四十名近い御出席があり世話人一同大へんよろこんでいる。引続いて懇談会を開きますがビールで腹を冷し、友情の方はあたためてもらいたい」と語り、ついで議事に入るため議長を選出することになったが司会者木本猛天氏の指名によって小林旭氏が議長に選ばれた。まず会則の審議が行われたが小林議長は終始民主的に十分議論をつくす方法をとり、逐条審議ののち決定した。支部長、副支部長、幹事、相談役等役員の選出は会則によって会長を選び、会長が指名することになっている。この支部長選出は結局世話人で指名することとなり相談の結果、支部長に斎藤幸昌氏（臨16大商・斎藤加工機製造KK専務取締役・校友会代議員）を推せん、満場一致の賛意を得て決定した。

その後斎藤支部長から他役員の発表があり来賓の挨拶にうつった。大月会長は「発会おめでとう。この中で私が恐らく最年長でしょうどうか皆さんのような若い力で校友会を益々発展せしめてほしい」と挨拶した。

閉会の辞を斎藤支部長がのべて総会を終り懇親会に入った。一同乾杯ではじまり、歓談、珍芸も万々で飛びだす陽気さ。樫本、長柄両副会長も祝意をのべ学歌を斉唱して午後十一時近くになりやっと閉会した。【K】

決定役員
支部長　斎藤　幸昌
副支部長　奥田甚之助

大阪国税支部総会
激しい異動に対抗する組織

大阪国税支部ではさる八月九日午後一時半から大阪国税局第一会議室で本年度総会を開催した。

まず開会の辞につづいて支部長前川太良右衛門氏（昭9専二法・国税局法人税課長）が挨拶をのべた。またさきほど本国税局長を退任された同支部名誉支部長吉田鹿之助氏も出席、盛大な総会に祝辞をおくった。

ここで総会議事に入り前川会長から年間の経過報告、ならびに会計報告が幹事荒井氏によって行われた。

このあと会則改正の件が村上幹事から提案された。現在の会則は昭和二十一年七月日施行のものであるが、国税局は人事異動がはげしくブロック別の会員数が激変し事実上地方ブロックでは活動不能となるためのその対策として考えられたものである。各会員から質疑あって結局この件を規定する第十三条は「幹事は総会において選任する」と決定した。この目的は地方ブロックでも活発に活躍できるようすることにあり、幹事は銓衡委員で推せん決定することになった。

盛んな総会を祝って乾杯する大阪国税支部総会風景

よって協議した結果、会長に前川太良右門現会長を再選した。またこの日出席した大月会長は祝辞とともに終身会費問題、会館敷地問題等校友会当面の問題について説明し、長柄副会長も挨拶をのべた。所用のためややおくれて出席の森川太郎教授も大学事情を説明した。会員の中からは実務講習会や講演会を計画しているがその折には教授陣の出向をお願いしたいとの意見もでたが校友会、教授共に協力を快よく引受ける幕もあり盛大であった。懇親会は乾杯にはじまりビールをくみ交して歓談、学歌斉唱と校友会万才、国税支部万才の三唱を最後に閉会した。【K】

決定役員
支部長　前川太良右門
名誉会長　吉田鹿之助
副会長　枝広悟　芝本正春
幹事　荒井　河田　黒井（以上常任）上野　徳永　岩崎　山崎　村上　萩野【前川発】

新熊本支部長に
内田義信氏

吉田鹿之助熊本支部長が熊本国税局長を停年退職され、京都に転地されたので熊本支部では後任支部長について検討していたが八月十五日新支部長に内田義信氏（前副支部長・昭6専商、玉屋楽器店）の就任が決定した。またこれにともなって副支部長には堤治助氏（昭10専一法・堤酒造株式会社社長）が就任した。

吹田支部設立準備会

9月14日千里山学舎で

母校の地元である吹田市には大阪府下の他衛星都市と較べて多数の校友が居住しているがその組織化

南勢支部 講演会に続き総会
在学生、他支部も出席

南勢支部では講演と軽音楽の会が終了したあと午後七時から近くの翠松園二階大広間で総会を開催した。最初別室で湯浅支部長が司会し、自己紹介のあと本部から出席の樫本、長柄副会長、門上組織部長からそれぞれ挨拶があり、また山崎教授も大学現状の簡単な説明をかねて挨拶した。そのあと会員から種々質問や希望がのべられ、質問に対しては校友会、大学側から出席者が詳しく説明され、要望等については現状の説明とともに検討する旨の応答があった。ここで会場を懇親の用意が整った大広間に移し一同講演会が無事盛大に終ったことを祝って乾杯し開宴された。この日は南勢支部会員はかりでなく、津、名張、伊勢方面からも出席者があり、加えて講演会のためわざわざ帰郷した熱心な在学生も交えて一同四十数人が和やかに杯を交した。在学生一同のリードで最後に学歌を斉唱して閉会した。【K】

本年度定例総会
残暑の日曜・宮本町で

岸和田

岸和田支部では本年度定例総会をさる九月八日、残暑きびしい日曜日の午後、市内宮本町、「宮本町会館」で開催した。

総会は定刻午後一時をはるかに遅れる午後二時二十分に幹事長岸田久馬氏の司会で始められた。

まず最初に支部長辻野新一氏が「残暑がぶりかえしむし暑い日にかかわらず皆様がたが多数御出席され一年ぶりに盛大に総会を開催することができて大変よろこんでいる。本部からも出席を得てまことに幸である。どうかお互に親しさを加え、支部と校友会、さらに母校の発展に協力していただきたい」と開会挨拶をのべた。ついで座長選出は司会者一任となり岸田氏から中村顧問が推せんされた。議題は会計報告ただ一つで会計幹事から報告があって承認された。

このあと校友会から出席の樫本副会長、門上組織部長がそれぞれ挨拶し、閉会の辞のあと一同記念撮影を行ってから開宴された。そこへ大学側久井専務理事が多忙な中をかけつけ、あちこちで旧友さかづきを相交す場面もあり和やかなうちに支部長の関大万才樫本副会長の万才三唱されて閉会となった【K】

残暑の日曜日に行われた岸和田支部総会

日本ところどころ
一唱をたずねて 27

福井県大野郡に西谷村という岐阜県と境を接する村がある。西谷村の奥一帯を平家平といい、その高地をとりまく巣原、熊河、温見など十戸から三十戸たらずの部落が互に五キロくらい離れた谷に散らばっている。そこは平家の子孫だという伝説をもち盆と正月には今なお平家踊という民謡を踊り伝えている。

平家平
藤本 浩一

前日、山中温泉からずっと奥にある加賀の西谷村九谷から雨の降る大内峠を越えて越前の竹田村に入り、それから芦原温泉へ出て泊っていた。早朝福井へ出て大野までは京福電車で一時間二十分、大野からは九頭竜川の上流真名川に沿うてバスを飛ばせること、一時間あまり、渓谷美の真名峡を見下し、籠渡しなどを散見しながら西谷村の入口中島へ着く。それから更に家一つない谷に沿って八キロばかり登ったところが巣原である。

いったいどこに家があるのかと思いながら横谷へ登っていく曲りの多い坂の下からとちやほおやくるみの大木が道をおおっていることがあり、谷川ははげしい音たてて奔流している。家は互にかくれ合うように、そしてわざと道から見えないようにしたのかと思われるような、崖の上に作られていて、下からみてもちょっとわからないのである。複雑な地形の、あそこ、ここに点々と見えるけれど二目見えるのは四、五軒だけである。ほぼその中央と思われるところに巣原明神と学校が並んでいる。三かかえ位のけやきの巨木が空にぬきんでているそのかけに小さい社殿がひっそりと鎮っている。平家踊はその境内である学校の運動場で行われるが、夜の九時頃はじまるというので、平家平へ行ってみることにした。

巣原から歩いて三千分、平といっても平面ではなく、やや広くなっている斜面である。そのすぐ近いところが天慶の乱に敗れた平将門がここへ脱れてきてしばらくかくれていたが、その後山の向う側の温見へ移って生涯を終ったと伝え、平家平の名はそれから起ったともいわれているが、それも殆んど消えかけた古墳の口碑である。将門屋敷ともいわれるところには社殿があったそうであるが、今は途方もない大きなとちの木と、大きな岩が雑草の間に転がっているばかりで、いつかの時代に人が住んでいたと思われるあたりには開拓団の出小屋が十戸ばかり建っている。

墓地のあとではなかろうかと思いながら、とちの木の下に上っていったとき、急に暗くなったのを感じた。黒い雲が下の方から非常な速さでせり上ってくる。開拓小屋に逃げこむ間もなく大粒の雨が降り出した。ものすごい勢である。あたりはあんたんとして屋根も吹っ飛びそうな風が吹く。ごうごうというすさまじい音が夜のような家の周囲をかけめぐる。何かの祟りもあるような怪談めくひとときであった。人間は私一人である。

三千分ばかりして雨はやみ空は晴れた。そして夏の真昼の日が輝き出した。

平家踊は夜十時すぎから始まった。はじめ十四五人の輪が十一時頃には四十人近くなった。

前列左から藤本、平家平、浩一

厚な血族結婚、今まで殆んど他村との縁組みはなかったという。米を作る田がなくて近年まで焼畑をやっていた。豆類やきび、いもなどが主食であったが今は米の配給によって食生活がかなり変ってきている。

巣原は三十戸ばかりの村で、濃厚な血族結婚、今まで殆んど他村との縁組みはなかったという。米を作る田がなくて近年まで焼畑をやっていた。豆類やきび、いもなどが主食であったが今は米の配給によって食生活が

大阪府済生会 泉尾病院

大阪市大正区泉尾中通四丁目七

院長　内野　滋

藍綬褒賞を受けて
—ただ母校に感恩—

谷岡　登

一

さる五月二十九日、教育功労者として、宮殿において天皇、皇后両陛下に拝謁して藍綬褒章を賜わり両陛下からそれぞれありがたき慰労のお言葉をいただいたことは私の終生忘れ得ぬ感激であります。

この光栄は私一人のものでなく教育に従事するものに対して得た名誉であると思います。

これも三十数年の昔、卒業後母校福島学舎に数年間勤めたので学校に関心をもつことになり、後日私が大阪商業大学を創立する基となった。母校の恩に深く感謝する次第である。

二

学校建設の動機について述べてみたい。私はまず法律科出身であるので弁護士になるつもりで勉強していたが、大正の終りから昭和にかけて、会計士制度の確立を盛んに論議されつつあった時代であった。日本経済の発達を期するため友人たちと相計り日本会計士会を作った。そのほかにも同様な会が作られていた。あたかも現在、経営士制度が確立していないが色々と論議されているのと同様の状態であった。

時代と共に必要な制度は自然に生れて来るものである。私はその潮に乗って計理士法が成立したときに、最初の計理士になった。早速堂ビル二階に事務所を開いた。さすがは経済の都大阪、はじめからドイツのラチェン商会やエメルイ映画の経済顧問をひき受けたりして、事務員四、五名を雇入れて比較的盛大にやれたのは「大阪」であったからである。かくして実務に当っている間に教育が先行するということに気付いたのである。

三

実際を尊ぶ大阪実業人は「学校出は実際の役にたたない。丁稚奉公からたたきあげねば一人前の商人になれない」と申していた。

現在の実業教育を根本的に改めて大阪に役立つ人物を作らなければならぬというのが私の教育に対する意見であって身をていして実行に移してきたのが私の生涯である。

昭和三年日本ではじめての試みとして大阪の実際に適合する一般商業学課目の外に機械、電気、化学、工業の三科目を加えた一種独特の学校を設立した。工業に関する基礎的素養なくしては大阪では活動はできないからである。その地方の産業を理解するということはその土地の空気を呼吸し、その土地に生きてゆくことになるのである。

学校も、その時代、社会に適合しなければ衰微する。教育の場所が相たすけずに適義に反することになれば廃校の途をたどることになる。学校経営者は心すべきであると思う。

何ら価のない私が波乱万丈の荒波の中を三十年過して今日を得たことは一途に誠実をつくしてきたのと遠く先祖の加護と近くは直接学校役員、教職員をはじめとし六千の在学生、一万の卒業生その他友人、学校関係者の心からなる援助の賜物である。ただ涙して感謝の意を表するばかりである。

藍綬褒章を拝受して
みどりなす大内山の奥深き
君の恵に我は泣くなり

東洲生

（筆者は大13専法卒・学校法人谷岡学園理事長、大阪商業大学学長、大阪女子短期大学学長、同附属高校長）

甲子会(大13専法卒)で
谷岡登氏の祝賀会開く

大正十三年専門部法律科卒業の校友で組織されている甲子会では、同窓の友、大阪商業大学学長谷岡登氏がさる十月二十九日教育功労者として藍綬褒章を授受された栄誉を心から祝福するために祝賀会を開いた。祝賀会は八月七日、南区玉屋町「来山閣」で開かれ、会員十一名が出席、心から同氏の授章を祝福し、更に健康で大成を期されることを念願し中華料理とビールと美人の酌で夏の一夜を盛大に過した。

当日出席者
谷岡登、池谷亀太郎、伊藤上弥、加藤止次、金星武三、桑宗正男、楠山秀太郎、矢野義一、深川実、久田一栄、広実郁雄

【甲子会・広実郁雄発】

囲碁OBで千里碁会
7月20日発会式催す

関西大学囲碁部のOBで千里碁会（仮称）がさきほど発会した。

旅行会の方は有志が毎月五百円づつ積立てることになり現在は十数名が加入しているが今後再募集して盛んにしたいと幹事はいっている。旅行コースも大体案が作成されているが今のところABCニコースが予定されておりAは北陸行、Bは山陰行、Cは白浜または天橋立となっている【南支部・千鳥克郎発】

拳法部、別府で合宿
支部有志と交歓会も

関西大学拳法部でも毎年夏季休暇には合宿練習を行っているが、本年度は去る八月十九日から一週間別府市内において実施した。

この合宿には別府市に在住する校友で拳法部OB得丸正雄氏が尽力し、合宿所も同市竹瓦町松屋旅館（校友経営）に定めて、今秋開催される全日本学生拳法選手権大会の三連覇を目指し、別府市柔剣道道場において猛練習を行い八月二十四日無事納会を終えた。

またこの間、拳法部では校友会大分支部長野田博氏ら同支部の校友から熱烈な支援を受け、納会当日には親子程年令の違う校友有志と現役学生がともに一堂に会して懇親会を盛大に開き、一同、時を忘れて盃を重ねた。学生側からは大学の数々の歌が斉唱され、校友は昔日の思い出にふけった。また校友の側からは数多いお国自慢が披露されるというまことに和やかな雰囲気の中に一同母校の万才を三唱して散会した【拳法部OB・酒井発】

趣味の会盛んん
南支部の友好活動

既報の通り南支部では旅行、小唄、謡曲、囲碁、将棋、ゴルフ、写真、書道等の趣味の会を結成するため奔走中であるがすでに小唄部は発足、活動を続けている。それにひきつづいてこんどはゴルフの会と旅行会が発足した。ゴルフの会の方はさる八月十九日午後二時から雍波新地一、「中交会館」屋上のゴルフ場に有志十三氏が参集初練習を行った。今後は毎週火曜日午後二時から六時まで練習することになっており専属コーチによる指導も予定されている。

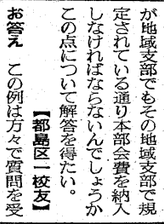
立春 校友のこえ 波

校友のみなさんから広く御意見を求めます。校友、学生、大学等に聞かせたい声をお寄せ下さい。今月は寄せられた一般的な関心のある疑問についてお答えする特集としましたが、この種の御質問もありましたらどしどしお寄せ下さい—編集部—

弾丸道路はどうなっていますか

高速道路が名古屋と大阪間に敷設されることは一般紙はじめ、「関大」にも以前に掲載されていたことがありますし、その後も「音波」欄にそれに対する大学関係者の無反応を憂えた声が発表されていたが、その後どうなっているのでしょうか。私たちがよく散歩した外苑の風光明眉な景観が壊されるとしたら大変惜しいことです。母校愛にもゆる学生、校友が一緒になって何とか善処できないものでしょうか。毎月に一度の新聞ですがどうか毎月この問題の進展を報じて下さい。【姫路市K・T生】

お答え　千里山学舎内を名神高速道路が貫通することはすでに昨年の十二月号に報じましたが、その後あちこちで反対運動等があり測量もあまり進捗していないようです。大学敷地内の測量はまだ正式に認めておらず、したがって大学側立会の測量ももちろん行っていません。しかし外苑の予定地付近を探索した結果数本以上の測量用杭が打ちこまれているのを発見しました。【写真】早速道路公団に問合せ次の回答を得ました。



なお本紙では紙面の都合もありますが、この問題に進展があれば出来る限り報じてゆく予定です。【広報部】

日本道路公団 一応測量はやった

宇野調査役談　てもよいというお話になっていましたので少し木を切り、測量の杭打ちをしました。ところが六月の学生大会で弾丸道路貫通が反対決議され、今まで打った杭は仕方なく、その後は中止しています。大学も休暇に入り新学期に学生大会で何らかの線がでて来ない限り進展はありません。

支部の入会について

私は大阪国税支部に入りその会員として支部会費とともに本部会費も納入しておりますが、こんど地域支部にも入会することになったが地域支部でもその地域支部で規定されている通り本部会費を納入しなければならないんでしょうかこの点について解答を得たい。【都島区一校友】

お答え　この例は方々で質問を受けますのでお答えします。職域と本部の会費の委託先ですが、これは便利な方でよいのです。したがって一万で本部会費納入を委託されれば他では不要です。但しその場合もその支部の規定する支部会費は納めねばなりません。校友会としてはできるだけ関係のある多くの組織へ（地域支部、職域支部、同期会その他）できるだけ多く入会し組織強化と活発化に協力願うよう希望します。【事務局】

凸レンズ

さる九月六日、三重県松阪市で「関西大学講演と軽音楽の会」が行われ、多数の聴衆を得て大きい成果をあげたがその蔭に南勢支部の役員、校友はじめ地元各界の人々の大きな活躍、協力があった。なかでも南勢支部役員の熱の入れようといったら大したものだった。開催前、宮崎組織部員が当地に赴いて種々打ち合せを行っていたが、「とに角熱心ですよ！」と感激しきり。最終打ち合せに事務局から出むいたときにはすでに各所にカットのような豪華なポスターが貼りだされ、松阪市民が注目と関心を寄せているのがありありわかるアリサマ。

× ×

さて、ふたを開けてみると予想違わず大盛況、松阪高校、松阪商高などからも熱心に生徒が押しかけ高度な社会科の実地勉強とシャレこんだ。

無事終了後湯浅支部長も疲れた顔をほころばせたが、この地方は関東各大学の宣伝戦の激しい地方で是非それに対抗したいとの日夜の努力が実ったわけで、この支部の創設当時の模様にも如実にその熱心さがあらわれていたことを思い出す。すなわち支部認可基準により一度は常議員会で「保留」となったのを「熱心さ」で見事基準の壁を超越して結成した支部であった。

飯盛美穂子氏

飯盛秀心氏（昭7大経・毎日新聞大阪本社営業局参与）夫人美穂子さんはさる九月八日ガンのため逝去された。享年四十一才。なお告別式は九月十日執り行われた。

門上組織部長帰国

七月十六日から一週間ストックホルムで開催された「軍縮のための国際協力世界大会」に出席し、その後欧州十七カ国を視察していた校友会組織部長門上敏夫氏は八月二十五日無事帰国された。帰阪は二十七日で、九月四日開かれた部長会には帰国後初出席された。

平沢農一氏府済生会泉尾病院事務長に

日本生命大阪東支所長平沢農一氏（昭13専二経）はこのほど日本生命を退社、大阪府済生会泉尾病院事務長に就任された。

田中巧氏国際会議に
ギリシャでの国際見本市協会年次国際会議に出席

大阪府商工部次長田中巧氏（昭9大法卒）は今秋ギリシャで開催される国際見本市協会年次国際会議に大阪代表として駒村資生氏とともに出席するため八月十八日大阪発出発された。同氏は会議終了後欧州各国の商工行政の実情を視察の上十月末頃帰阪の予定である

お願い

校友会では過般来、従来の金参百円の年会費納入制に加えて金参千円の終身会費制を併せて実施しております。

校友会では母校関西大学と協力して念願の大事業「関大会館」の建設を計画中であります。校友会においては校友の皆さんから進んで会費をお納めいただき組織強化と本会発展の礎石を築くため広く会費御納入の御依頼を申上げる次第です

つきましては何かと御迷惑とは存じますが何卒母校並びに校友会の同期的な発展を期するため出来るだけ多くの校友の皆様から格別の御協力を賜わりますようお願い申上げます。なおすでに御納入の皆様には同輩はじめ広く先後輩にも趣旨をお伝え下さるようお願いいたします。

御納入についてはいずれ校友会から集金人を参上させ親しくお願い申上げますが、その節には何卒よろしくお願い申上げます。

なお、遠隔地の皆様方にも校友会本来の趣旨を御了承いただき御面倒ながら御協力賜わりたく存じます。

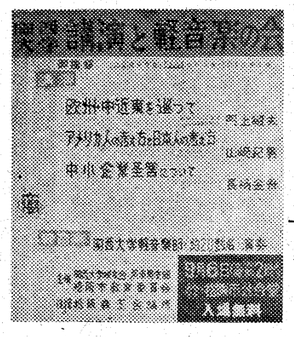
敬具

関西大学校友会

なお校友会集金人は左記の通りでございます。

出元文雄、原精吾、佐々木弥生、斎藤敬、垂水富子、山地きく

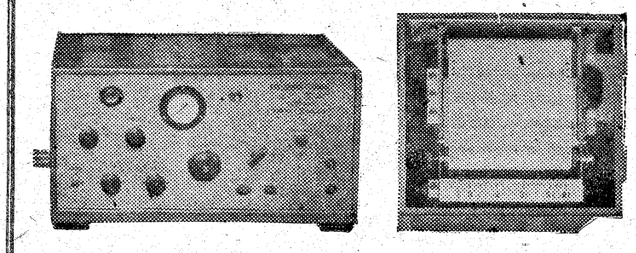
集金人はいずれも身分証明書を携行いたしております。



官庁 学校 洋家具製造
日本家具製造株式会社
大阪市東成区神路町二丁目七番地
電話大阪(98)代表〇二六番 〇二七番

濾紙 試験紙
理化学器械
ペーパークロマトグラフ装置
濾紙電気泳動装置
ガラス電極PH計
フラクションコレクター
ガスクロマトグラフ
試薬・指示薬
東洋濾紙株式会社
大阪営業所
大阪市東区船越町二丁目三十六番地
電話(94)7731～4番
本社・東京　出張所・福岡・名古屋・仙台・札幌

各種鑄鋼品 製造販売
KSK
呉羽製鋼株式会社
取締役社長　森　正治
大阪市西淀川区竹島町五丁目一番地
電話淀川(47)四三一一番 四三二一番 四三三一番 四四三一番

yanagimoto
柳本ガスクロマトグラフGCG—100型
柳本ガスクロマトグラフ用記録計GR—1100型
東京大学工学部工業化学教室御指導

株式会社 柳本製作所
本社　京都市中京区木屋町通三条下ル
東京支店　東京都中央区日本橋浪花町2
大阪支店　大阪市北区堂島上3町目37
福岡支店　福岡市下名島町41

いつも楽しく・いつも満足
阪急の観光バス
御用命は
大阪観光案内所（阪急ビル新館1階）
電話(34)737.739
京都営業所（京都市役所前）
電話③5647-7344
阪急バス

各部いっせいリーグ戦へ

千里山の秋色

第三学生に群がる学生たち（9月1日・新学期開始）

さあ！試験だ

XX…二カ月にわたる長い夏休みをおえた学生たちが九月一日元気に学園へ帰ってきた。猛暑のなかであくびを連発して寝そべっていた学舎が生きかえったようだ。

XX…「どうや田舎は？すずしかったか」「いや、どこも同じだ。あまり暑いのでふるさとの川で泳いだり山へ登ったり休をきたえたけん」「えらい黒うなったナ」と話す地元組と帰省組や「おい二カ月もバイトしたら、だいぶモウかったやろ」「おまえなんかタップリ勉強してあまり単位をひとり占めするなよ」とバイト組と勉強組などが学園のすみずみでたのしげに語りあっている。

×…しかし、前期の試験がもうそこにやってきていては新学期のしさも、なかば試験ノイローゼ気味。また四年次生の就職戦線もいよいよ攻撃開始とあって教務課と就職課の掲示板は大はんじょうの盛況ぶり。にぎやかななかにも楽しさと真剣さのまじりあった「後期授業開始！」の関大の表情であった。

本格的な教養番組

―「関西教育文化放送」が合体―

MBS・TV 十二月に初電波

毎日放送（M・B・S）テレビはいよいよ十二月からチャンネル4（現在のN・H・K）で本放送を始めることとなったが、この毎日放送テレビは母校関西大学も重要な一役をにない、準教育放送としての番組編成に力をそそぐことになった。もともと関西の教育関係者で関西教育文化放送が計画され認可申請が行なわれていたが、去る六月毎日放送と合体したものの特にその性格から教養面に高い努力が払われ一般テレビが娯楽中心の番組が多く子女の教育にテレビの功罪が論じられるとき同放送はテレビを通じ教育、教養を高め、文化芸術に寄与し家庭で安心してみられるテレビとしょうするのでこのため同放送に「関西教育文化放送会議」が設けられた。理事長として板鰐菊松博士があたり、母校専務理事久井忠雄氏も理事として参加（理事十一名）ほかに関西各大学、高校、私学連校長会学識経験者などから岩崎卯一博士ら三十余氏が評議員となり（一）教育放送に対する世論とその利用効果の調査（二）教養番組の技術的な助言（三）教育機関に対する諮問と調査、その他毎日放送の番組作成に適宜な助言と調査を行ってよりよいテレビ文化を築こうとするものでこの本放送開始が待たれている。

（林信夫＝広報部長）

小阪謙造氏 こんどはグループ展

先月号にて〝期待される新人〟としてご紹介した小阪謙造氏（昭28短大二）がさる八月二十六日から同三十一日まで大阪梅田・白鳳画廊でこんどは氏の所属する旺玄会グループ展を開催した。既報の個展とは違ったシュールなものが主であったが、同氏もこれが本当の仕事です。今後も大いに頑張りたいと語った。なおこのグループの第二回展が引続いて今月十九日から二十四日まで同画廊で開かれることになっている。

映研が初の劇映画

「女高生の手紙」二年ぶりに完成

関大映画研究部が三年一年七月から製作中だった初の劇映画「女高生の手紙」は二年ぶりにクランク・アップし、さる八月十三日千里山大学院ホールで晴れの試写会をひらいた。

これは同部が手がけた最初の自主映画で十六ミリ・一巻・十五分の短編。

制作費は三十万円で学友会本部、文化会本部、教育後援会から援助金がでている。

昭31年卒業した岡田悟郎氏が在学当時に書きおろしたオリジナル・シナリオを岡田氏自身がディレクトしたもの。音楽はKBCA（レコード・コンサート部）が協力して既製のレコードを使用、KBC（放送研究会）が録音を手つだった。キャストは主人公の女学生を市岡高校演劇部の二女高生、その先生を大島正雄君＝主将が演じ部員たちもその他大勢組で出る。ロケに使用した地は千里山外園、研究室付近、梅田新道。

ある中学校。手をとりあってがんばってゆくことを誓いあった親友A子、B子は、知らず知らずのうちに自分たちは遠ざかっているような不安にとりつかれる。「なぜかしら…」二人は考える。A子は手紙にこう書く。「わたしたちは勉強せねばならないのよ。そうしないと、みなについてゆけない。一にも二にも勉強…これがわたしたちの道だと考えなければ仕方がないじゃないの」B子は納得できないまま恥じない威力をもち、この長打力を生かす梅田、越野、上田の出塁率いかんで着実に得点できる。南野、今村、大原（中島の病欠のため今村が遊撃にまわり大原が三塁に入る）といったところが当り出すと投手力を上まわる強力な打線がしける。いずれにしても関大は投打力が他チームを圧倒する強さをもっている。

⑩―春、神大の村上投手のゆるい曲球に悩まされているので、どこまで関大打線がこれにくい込むかの懸念があったが、安打22の数が示すとおり苦手の投手を徹底的に打ちまくった。これは「春の欠点を是正する」ことをねらった合宿の成果を如実に物語るものだろう。春の少々荒削りな打棒が一段と充実油がのり切った感じだ。これさえあれば前途は明るい。

⑩―ところが問題は二カ月におよぶリーグ戦にこの猛威をどこまで持ちつづけるかということだ。まして関大はこのあと約一カ月間ゲームから遠ざかる。この間、学業試験などでコンディションがくるわないかの不安がある。もうひとつの不安は立命、関学、同大がいずれも春よりもまこまりができていること。関大は得意の速攻をきめてこれらの強敵に先制をねらわねばなるまい。この二点がうまくゆくと春秋連続優勝だ。

⑳―この選手たちの緊命なプレーを激励するものはスタンドの応援だろう。学生も校友も母校の優勝を目ざして選手とともに頑張ればより効果的だと思う。（下）

関大OB第四位に

▽全日本クラブ▽▽ヨット選手権

八月二十四日西宮港で行われた全日本クラブ・ヨット選手権大会は全国から多くの海おとこを集めて炎天下の清覧をみせたが、関大OBクラブはよくがんばり第4位にくいこんだ。成績次のとおり。

①中大OB 73 ②大阪関学ク 65 ③兵庫関学ク 58 ④関大OB 49 ⑤黒潮セーリング ⑥早風セーリング

鈴木―小松組敗る　関西学生庭球選手権大会は九月初旬、甲子園で行われたが、関大の奥深、立田組と鈴木、小松組は四回戦進出むなしく関学の森、芥川組に6―2、6―3、神大の市山、徳田組に6―1、11―9で敗れた。

関大ク、奮わず

全日本サッカー選手権

全日本サッカー選手権大会関西予選の最終日は八月二十四日西宮競技場でおこなわれ関大クラブはC組で優勝、A・B組の勝者紫光クラブ、関学クラブとともに大会の出場権をえた。

関大ク 6（2―0、4―0）0 関学

大会は九月六日静岡県藤枝市で開幕され強豪関大クラは四国代表愛媛クを5―1で破ったが準々決勝で八幡製鉄に敗れ去った。

▽関大一高1勝　関学高 0000010010＝2　関大一 0000006X＝6

関大一高のバッテリーは村瀬、木村に牧野。

関大の六連勝

早関バドミントン定期戦

第六回早大―関大バドミントン定期戦は九月六日関大体育館（天六）で行われ関大は六連勝した。

（関大 8（単6―0、復2―1）1 早大）

「関・法総合大会」

法政創立80周年記念に招れる

法政大学体育会では同校創立八十周年記念行事の一環として「関大―法大総合試合」を計画し、このほど関大体育会に正式に参加を求めてきた。関大体育会ではこれをうけて目下両者の間で協議をすすめているが、来る十月四・五日、東京国立競技場で開催の線がつよくなっている。なお競技種目は硬式庭球、軟式庭球、拳斗、ホッケー、ヨット、ボート、バドミントン、フェンシング、重量拳、サッカー、射撃、柔道、陸上、レスリング、卓球、ハンドボール、剣道、拳法、馬術、山岳の二十種目である。

近づく二大会

「東京―近畿」「世界柔道」

九月二十一日、東京対近畿の柔道大会が行われることになった。東京都立体育館に東西の強豪が集まり覇をきそうが関大から四選手が参加する。またつづいて月五日には世界柔道大会日本予選が福岡スポーツ・センターで開かれる。

関西六大学野球秋のリーグ戦ひらく

圧倒的な投・打力

関大 連続優勝もできる？

展・望

⑩―春のリーグ戦で十二戦十勝、勝点5の完全優勝した関大は秋にもその勢いで連続優勝をねらっている。しかし過去三年関大は春にこそ連勝してはいるが秋にはふるわっていない（31・32年とも三位）。これは大学選手権大会が始ってからの現象なので「関大は選手権を目標にしていて秋のリーグ戦に力を入れない」などとヤジがとんでいる。またかっては〝秋の関大〟のジンクスをもっていたのも皮肉だ。

⑩―川村監督はヤジに対して「そんな誤解があるなら今秋こそ何が何でも優勝せねば…」と苦笑し、春のリーグ戦で十二戦十勝、勝点5の完全優勝した関大は秋にもその勢いで連続優勝をねらって

関西六大学野球秋のリーグ戦はいよいよ九月六日生球場の入場式についで関大―神大戦で幕をあけた。関大はこの試合で猛打をふるい一回戦は22安打で17点、二回戦も梅田、仲川に本塁打がでて神大を圧倒、早くも勝点1をあげた。このところ秋に弱いと評される関大だが今季は春に春にと優勝いらい投・打力が脂をのせているので「秋にも優勝」の予想も確実性が多い。

早くも勝点1

村山も好投　神大に猛打浴せる

【関大1勝】＝9月6日・日生

| | | |

欧州みてある記

レバノンは武器を望まない

門・上・敏・夫

(写真は英国イートン大学を出 根原治郎氏と歓談する筆者)

「軍縮と国際協力のための世界大会」

ストックホルムで去る七月十六日から二十日まで一週間にわたって開催された軍縮と国際協力のための世界大会に日本代表として選ばれた私は他の代表たちとともに七月十四日羽田発のSASに乗りこみ北を回って十五日に目的地についた。十六日開会へきとうに米海兵隊六千名がレバノンへ上陸したと報道されたので会場はいやがうえにもエキサイトした。そして緊急動議でこの大会の態度を決めようと提案され、まず抗議の決議がなされた。十九日には「中東情勢に関する声明」となって大会の意思が表明されたことも当然の帰結であった。五十を上まわる参加国、人員は約千五百。基調演説はジョリオ・キューリー氏にはじまりイギリスのバーナル博士、チリのポブレト夫人教授、ポーランドのオスカーランゲ教授とつづいた。代表的な演説としては中国の郭沫若、ソ連のエレンブルグ、フランスのピエールコット、インドのネール夫人、朝鮮の韓雪野、日本の東野義太郎であるが、なんといっても中国代表の郭沫若氏の演説はその態度・内容ともに堂々たるもので中国の立場から平和運動の根本方針を説明した。①戦争をなくするために、その原因を追求することが必要②台湾は中国の領土であるにもかかわらずアメリカが占領していることは帝国主義であるからこの戦争政策を粉砕せねばならない…と強調し、また日本問題にも言及し岸信介氏を非難、アジアの平和のためにいまこそその態度を改めるべきであると指摘した。また中小企業者は第四次日中貿易協定の不成立によって倒産が続出しつつあると可責なくの成果をおさめたなかに特徴としてあげられることは、アジア・アフリカ諸国の代表発言がきわめて活発であったこと、婦人代表が多数参加したことなどであった。このなかで日本代表は数こそ多かったが発言はかなり低調であったことは否定できまい。数のみにこだわらず今後はこの種の会議にふさわしい、そして真に国家を代表する人物を送る要があると痛感した。

廖承志氏と日中問題で会談

この期間中、私は中国の廖承志氏、また北京から参加した西園寺公一氏とそれぞれ別個に会見したことは大きな収獲であった。中国側の対日政策を聴取し、留学中の池垣教授にも会った。つづいて西の果、ポルトガルのリスボン、四百年前世界を席捲したスペインの首都マドリッド、スイスのジュネーブ、オーストリイのウイン、イタリーのローマをめぐってエジプトのカイロに到着した。ナセル大統領が不在であったので代って工業大臣のアジス・シドキ博士と一時間半にわたって懇談した。アジス・シドキ工業相は目下高碕通産大臣の招きでわが国を訪問中であるが、まだ三十八歳の若さ、ちょうど明治政府の青年大臣たちと同じような抱負と経倫で祖国の再建に昼夜の別なく活動しておられる姿には敬服したことになり、北上してノルウエーのオスローに、南下してデンマークのコペンハーゲン、ドイツの東西ベルリン、ことは一昨年訪れただけにその当時と比較することができて一段と勉強になった。デュセルドルフからボン、マインツからコブレンツまで約四時半、ライン河を船で下りローレライの巨岩、西岸にそびえたつ古城などライン河ワインをたしなみながら大いに天下の景勝を賞でた。それからパリに入った。ここでは在外記者団(共同通信社の翔氏をはじめ各社および大使館の福永氏)を招いてドゴール政権下の政治経済事情について懇談する機会をえたことは大きな収獲であり望外の喜びであって感謝している。

右から(前列)坂本、アジス・シドキ(後列)田辺、二人おいて筆者、武田の各氏

こんどは北上してベルギーのブラッセルで開催中の万国国際博覧会とオランダの干拓をみて八月六日英京ロンドンに渡った。ここには同期生の山根康治郎君が中部日本新聞の欧州総局長として頑張っているので彼の案内でイートンスクール、ウインザー城を始め各方面を視察した。つづいてエジプトのカイロに到着した。ナセル大統領が不在であったので代って工業大臣のアジス・シドキ博士と一時間半にわたって懇談した。アジス・シドキ工業相は目下高碕通産大臣の招きでわが国を訪問中であるが、まだ三十八歳の若

レバノン紛争の根は宗教の闘い

最後の訪問国はレバノンである中東の情勢を知るためにはぜひ見ておく必要があると思ったので入国その他所要の手続をすませてアメリカ軍が上陸してから約一カ月のベールートへ入った。飛行機から市内へ入る海岸線一帯にアメリカの軍隊がキャンプを張って物々しい警戒ぶりで夜八時からはいっさいの通行禁止となる。新大統領が選挙の結果確定したにもかかわらずシャムン現大統領が任期いっぱいやるなどという声明を出すものだから、また反政府運動が刺激して治安は回復どころか不安は増大するばかり。レバノンは総人口約百五十万の小国、回教徒とキリスト教徒がヒフテイ・ヒフテイ、ちょうどバランスがとれていたのを最近キリスト教徒の勢力が拡大されて要職を占めるバランスが崩れた。これを前にもとす回教徒の主張が反政府運動である。従ってこれは国内問題として処理されるべき性質のものである。国連のハマーショルド事務総長の見解を尊重することなくアメリカが出兵したのであるから世界の世論が承知しない。国連臨時総会開会の日に千八百名搬送したが、あまり見えすいているので何らの好影響をもたらしていない。夜はいたるところで銃声がきこえ、掠奪、人さらいが横行し無気味なものとなっている。

これを解決するものは武力でなく崇高な精神力となってきた。したがって、欧州におけるキリスト教、中近東は回教、アジアは仏教と、これから宗教の果役割はきわめて大きなものとなってくると思われる。

ストックホルムで西園寺公一氏とある筆者

ラ・ぐ・オ・め(上)

すばらしきかなグリンドボーン

山・根・康・治・郎

オペラの盛んな欧州でもとりわけ英国のオペラ好きは相当なもので本場のイタリアやフランスにもはるかにまさる熱烈なファンぶりである。現在英国にはロンドンに根域をおくコベント・ガーデン、地方巡業に力を注ぐ英国最古の歴史をほこるカール・ローサ、大衆オペラをめざすサドラーズ・ウエルズ、少数のレベルの高い層をねらうグリンドボーンの四劇団が代表的なものであり、英国オペラ界をリードしているものといえよう。

このうちでもグリンドボーンは毎年春から夏にかけてロンドンから汽車で約一時間のルイスという小さな田舎町のはずれにある別荘を増改築した小さな劇場で開演される風変りなものである。グリンドボーンは英国オペラ・ファンのあこがれのマトであり、いちどはこのオペラを観たいものと念願しているが劇場が小さく売りさばかれる切符が少いため、普通ではなかなか手に入れることはできないので数年がかりでやっと望みを遂したという人がかなり多い。

グリンドボーンのねらいは人里はなれて静かな自然境でなにものにもわずらわされることなく、ユックリ落ちついた気分でオペラ芸術の真ずいを観賞しようというところにあるらしい。事実、グリンドボーンにはそうした場所にふさわしいふん囲気につつまれている。さいわい私はオペラ界に顔のきく有力団体の口ききでこの切符を手に入れることができた。グリンドボーン開演中は日曜の休演日を除き毎日午後三時すぎにロンドンのヴィクトリア駅から一等車ばかり五輌連結の専用列車が発車するがルイス駅からはこの列車だけに連絡している特別仕立ての大型バスがたくさんまっているのでなかなか便利だ。ルイス駅からグリンドボーンまでバスは約二十分で着くルイスの町を通りぬけると丘陵地帯を帯のように曲りくねった一本道をぐるぐるぬってはしるが風景である。グリンドボーンは一九五四年オペラ歌手のオードレ・よと劇場といったような感じをうけるが、三階の例外を除いて男はディナージャケット、女はイブニング・ドレスでたいていは同伴と戻っており、オペラを観ながらガーデン・パーティといった気分である。方々でシャンパンをぬく音や男女のはずんだ語らいが静かなかにもはなやかにたのしみ、いかにも楽しそうである。舞台横のカベにはグリンドボーンのこんにちの基礎を築いたブッシュのデスマスクがはめこまれていたのは印象的であった。数カ所に売店があって酒、冷え物は料理もつくってくれるので私のように独りでいったものも退屈はしないがほんの数えるほどかりである。オペラは十一時すぎに終るが、ここではロンドンの劇場で半ば強制的に聞かされるゴッド・セイブ・ザ・クインの国歌もやらないのでオペラの余いんを十分味えてよい。ふたたび同じコースでロンドンに専用列車が着いたのは十二時半をすぎていたが、観客のなかにはきょうのオペラを数年もまえから待ち望んでいたというだけあってグリンドボーンにはオペラを観賞したというだけではなく何かしらほのぼのとしたものが

ロンドンにて

オーケストラのボックスが大きいのが目だち、音響効果はとてもよくできている。私のみた「アルセスト」は原作はフランスもので一七七六年パリではじめて上演された古いものである。ギリシャのフラオの国を背景にした古典オペラで、このヒロインの役を演じたスペイン生れのコンスエロ・ルッピビオというプリマ・ドンナは非常な美人であり、声量は全くすばらしい。第一場は約五分間、オーケストラは照明を消した暗いなかで演奏されたあと静かに幕があがられる。舞台は宮殿をバックにして後向きになった六十名近い男女がみられるがしばらくすると客席の方に向きをかえて一斉に歌い出すといった手法で開幕される。あらすじは、級友平沢農一氏を通して本紙にとどいたもの。東京都世田谷区三軒茶屋町二三九の留守宅には銅子夫人と長男雄一郎君(九)、長女かおるちゃん(四)があり、夫人は長唄、小唄に精進中だというが、オペラの舞台は中部日本新聞社ロンドン支局長、昭13専二経卒・五十経会会員。氏は朝日を振り出しにジャーナリズム生活に入り元国民新聞副社長山根真次郎家にムコ入り、のち中日に入社、同社東京経済部次長をへて昨年四月ロンドンにおもむき、近々任期をおえ帰朝の予定。

この稿は、級友平沢農一氏を通して本紙にとどいたもの。東京都世田谷区三軒茶屋町二三九の留守宅には銅子夫人と長男雄一郎君(九)、長女かおるちゃん(四)があり、夫人は長唄、小唄に精進中だというが、夫人は長唄、小唄に精進中だというが、夫人は長唄、小唄に精進中だ

(次号は「スカラ座」について)

※　※　※

やまね・こうじろう氏は中部日本新聞社ロンドン支局長、昭13専二経卒・五十経会会員。氏は朝日を振り出しにジャーナリズム生活に入り元国民新聞副社長山根真次郎家にムコ入り、のち中日に入社、同社東京経済部次長をへて昨年四月ロンドンにおもむき、近々任期をおえ帰朝の予定。

この稿は、級友平沢農一氏を通して本紙にとどいたもの。東京都世田谷区三軒茶屋町二三九の留守宅には銅子夫人と長男雄一郎君(九)、長女かおるちゃん(四)があり、夫人は長唄、小唄に精進中だというが、夫人は長唄、小唄に精進中だ

特別レポート

奥能登の法生活を探る

珠洲市での実態調査を終えて

森　健

ことしの調査団は総員三十四名をもって結成され、会長中谷敬寿教授を団長として、桜田著教授、石尾芳久助教授、沢田嘉貞講師、沢井裕助手および春原源太郎評議員の各先生を指導員に迎え、学生会員中二十八名をその団員と選定した。本調査団はこれを本部のほか五班に編成した。その編制に本部および一班を、法住寺に二班、馬渡に三班、正院に四班五班をそれぞれ配置して調査にあたった。調査事項の主なものは①漁業・農地・山林の諸関係②親子・婚姻・相続・分家・遺言などの家族関係③村落共同体・治安・制裁・宗教などの社会構造関係④出稼関係などであった。この地域を調査地に選定したのは、この地域には他の地方にみられない、例えば烏帽子親子の関係などをはじめとする特殊な旧慣古例が残っていて、この地方住民生活を、いまなお現実に規律しているものがあるからである。

(レポートの前文から)

☆　☆　☆

古さ・新しさのミックス

まだ残る〝勢力温存主義〟

調査地の珠洲市は、市とはいえさる昭和二十九年七月、珠洲郡飯田町や宝立町を中心とする九カ町村の合併によってあらたに誕生した地方都市である。陸路から行けば金沢市から七時間を要し、また海路から行けば七尾市から四時間を要するという、いわば陸の離れ島であって、いまだ汽車も電車も通じていないというへんぴな地である。だが、万葉歌人大伴家持の歌に、「珠州の海に朝びらきして漕ぎくれば長浜の浦に月照りにけり」と、たたえている風光明眉な海岸の風景をはじめ、その他、日本百景のひとつに選定された九十九湾も近くにある。こういった地域における法生活の実態調査などということは恐らくはじめてのことなので調査団の到着と同時に、NHK金沢支局、北陸放送のラジオ北陸新聞、北国新聞、中部日本新聞などの地方紙にいち早く報道されたぐらいであった。調査地ではあいにくの台風十一号の襲来によって豪雨となり、災害救助法の発令がなされたおりであるから、調査団員の苦労は並々なるものがあった。しかし中谷団長をはじめとする語先生の熱心な指導のもとに、調査団員の努力と現地関係者の協力によって、本調査団としては予期以上の収穫を得ることができたと思う。調査の成果の一部は、現地からの帰途、中谷団長がNHK金沢支局なり、北陸放送なりからそれぞれ放送されているし、また八月七日の朝日の全国版『学窓』欄にかなりの紙面をさいて掲載されているとおりである。しかし調査の正確な成果は中谷団長や語先生のご指導の下に、目下調査団員の手で整備中であるが、西大学法学部におわかいして、その会誌にのせていただくよう努力中である。

したがってここでは調査の結果の主なもの、二、三について言及するに止めるであろう。この地方における風習慣行を通じてみられる法生活の実態について、概括的にいえば、団長中谷先生の評されているように「新しいものと古いものとが同居していて、あたかも日本の縮図をみるような興味深いものがあり、新しい制度の実生活における適用のうちに、古い封建制のしがらみがあるかと思えば、また旧慣のよさが混在している」という観が深い。

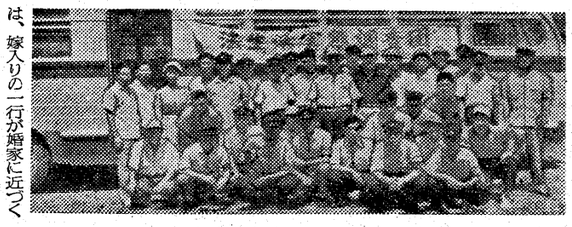
「烏帽子親」と「縄張り」

ますこの地方の民事生活においてみられる特殊の風習慣行に「烏帽子親(えぼしおや)」「烏帽子子」という関係や「縄張り」という奇習がある。烏帽子親の関係は古代からあったものであるが、とくに鎌倉時代においては武士階級の勢力の温存または拡大の方法として利用された主従結合の一方式であったといわれて注目されるが、それが民間にもおよんだものである。「烏帽子親」というのは、実の親が、その青年子女のために親代として仮の親をたて、その仮の親と青年子女との間に親子の契を結ぶという慣習である。「烏帽子親」「烏帽子子」と呼ばれているこの地方で受けつがれている「烏帽子親子」の関係について注目すべきことがらは、中谷先生のいわれるように「それは武士階級の勢力温存または拡大の方法として利用された主従結合を意味するものではなく、あくまでも人間的信頼関係を規制するものである」ということである。つぎに「縄張り」ということこの地方における奇習は、嫁入りの一行が婚家に近づくと若衆などが途上に縄を張ってとおせんぼをするという風習である。この縄張りをとって無事婚家に行きつくには、多くの人々に祝儀を出さなければならないという、このような奇習は、今は婦人会や青年団の自覚にもとづく努力によってしだいになくなりつつあるといわれているが、たとえ現実に縄張りをしないときでも、その名残りとしてなお群る人々に祝儀は出さなければならないとのことである。この奇習は、若衆を通じて結婚という私事に村落団体が干渉するものと解せられる。

名主をとりいれた区長制度

次にこの地方における公正法にみられる特殊なもののひとつとして、区長制度のほか、漁業協同組合と漁業生産組合とがあって、漁業法の意図する漁場の開放、漁業権の独占排除という理念の実現が現実には「未だし」ということである。すなわち漁業協同組合は、単に漁獲行為のみを行って水上げの一部分の分けまえに甘んじ、かえって漁業生産組合に旧網元の勢力が温存され、それが実質上漁業権を掌握しているという事実である。私達の実態調査が、中谷先生がいわれるように『このようによりたれた糸を一本一本解きほぐすことに役立てば望外の幸である』と思う。

(もり・たけし君は千里山法律学会の幹事長。法四)



写真は中谷団長をかこんだ一行

不合理な漁業生産協同組合の関係

次にこの地方の漁業について注意しなければならないことは、せまい漁区に数個の漁業協同組合と漁業生産組合とがあって、漁業法の意図する漁場の開放、漁業権の独占排除という理念の実現が現実には「未だし」ということである。

すなわち漁業協同組合は、単に漁獲行為のみを行って水上げの一部分の分けまえに甘んじ、かえって漁業生産組合に旧網元の勢力が温存され、それが実質上漁業権を掌握しているという事実である。私達の実態調査が、中谷先生がいわれるように『このようによりたれた糸を一本一本解きほぐすことに役立てば望外の幸である』と思う。

(もり・たけし君は千里山法律学会の幹事長。法四)

千里山評論(3)

今年も大豊作だが…

※「親」はなくても「子」は育つ※

東井正美

(今年)のお米の収穫は、史上最高の豊作といわれた三千年なみの大豊作が見込まれている。

農林省は八月十五日現在で調査した今年の米の作柄を九月一日に発表したがこれによると水陸稲の合計は八千二百四十六万石となっており、空前の豊作といわれた三千年の推定実収高八千二百五十六万石にほぼ等しい豊作であり、今後の天候次第では史上最高の豊作記録を更新すると期待されている。お米の出来がよければそれだけ農村の購買力もふえるし、一般の金ぐりも緩むなど景気にひびき、〝なべ底〟の不況にあえぐ一般の経済界にとって何よりの朗報だといわれている。

これはむろん、全国的にみて高温多照の豊作型天候によるものだが、単に天候のせいだけではなく、農民の稲作技術が進歩したことによるところが多いようだ。たしかに、技術の進歩は顕著で、品種の選択、改良、新しい肥料や農薬の普及、畜産の普及、保温折衷苗代の普及、機械化の進行などはめざましいものがあった。

食糧増産のかけ声とともに政府が行った土地改良にもよるであろうが、農民の努力によるかかる稲作技術の進歩によって少々天候が悪くても結構相当量の豊作が期待され、平年作が大体七千万石を越えたところになってきたというのが一般的な見方で、四年つづきの豊作というより、むしろこれが常態といわれるようになった。

(この)明るくなるであろうか。手放しの楽観は許さない。第一に、この大豊作とうるおうのは米を相当量販売できる一部分の農家にかぎられているからであり、第二に、畑作物が全般的な値下り傾向にあるからである。

そこで次のようなおう(乙)なシャレ(洒落)が飛び出す始末だ。生糸の暴落、牛乳の値下り卵も家畜も下り坂であることを農家がかこっていったという。「牛飼いはギューッといく豚を飼ったらトントンで、ニワトリはエサと卵がトッチッコ(取りかえっこ)繭の増産はマユツバものだからなあ」と(朝日新聞、三十三年七月六日号)

(戦後)は農家が畑作収入に依存する度合は高まってきた(米の収入と畜産を含めた畑作物収入の比率は大体五対五ぐらい)といわれているのだから、畑作物の全般的な値下り傾向が農家に与えるインパクトは甚大であろう。この大豊作で食糧事情は極めて明るく銀人食糧(外米、外麦)の削減=外貨節約になりそうで大変結構だが、農家経済の安定の角度から見ればいくらか農家のフトコロを重くするとはいえ、やはり農家経済全体にとっては麦、桑、牛乳問題で頭痛はち巻き。

そこで農政が重要になるのだが、二千九年の〝一兆円予算〟による農林予算の削減による農政の後退を画期として海外農産物の絶対的過剰と価格下落の傾向も反映して、農政は従来の主食増産を捨て輸入重点主義へ移行し始めてきたといわれている。それだのに、皮肉にも豊作が四年ついた。そこで親(主食増産政策)がなくても子(米作)が育つということになってくる。

農政については、鶏卵と牛乳の過剰生産による価格下落に、市乳の一円値下げによる原乳の買いたたきが追い討ちをかけようなけはいである。生糸は過剰生産で暴落し、養蚕業は危機だ。麦価は、国際価格とくらべて高すぎ、価格支持的性格をもったその麦価さえ生産費をつぐなわぬというので作付減少となっている。野菜は値下り傾向である。

なにもなれば大変だ。だれかが指摘したごとく、米麦の増産をやめさせて不自然につくり出された過剰化こそ牛乳や果樹を過剰生産の花形とする畑作物の過剰生産=値下りの一つの原因だとも考えられるからだ。

(もし)うわけで農政に要請されるものは、食糧自給度の向上、農家経済の安定を強力に押し進めることであろう。また、三十二年の〝農林白書〟で今後の農政の課題の焦点が農業生産性の向上にあるとせっかく指摘したのだから農政は農業の発展、農民の経済的地位の向上を文字通りに指向して農業生産性の向上にまいる。一日も早く、豊年満作に心のしどりなく歓喜する農家の姿を見たいものである。

(とおい・まさみ氏は経済学部助教授。農業経済を教える。二十二年関大出身。学生時代は「関大新聞」で活躍した)

☆　☆

校友の動き

住所変更

▽荒尾成国(昭31学二史)堺市金岡町一四一三・日本住宅公団中モス住宅第5号館一〇四号室。
▽石垣泰国(昭28学一法)帯広市緑ケ丘自衛隊内。
▽今中昭介(昭26学一法)大阪市住野区猪飼野東二一二〇
▽宇佐美正祐(大千専法)高槻市八丁畷一四〇一10
▽小川喜志雄(昭15大商)名古屋市中区伊勢山町3。勤務先も名古屋・近江屋興業KK名古屋営業所(所長)
▽大西久男(昭26学一経)大阪市東淀川区下新庄町四一86。
▽岡本功(昭28学一経)大阪市都島区東野田三一32。
▽奥川武郎(昭6大経)寝屋川市太秦五一六。
▽奥村寛純(昭29学二政)大阪府三島郡島本町広瀬五九六。
▽金丸義郎(昭5大法)福島県杉馬市程田飯豊連絡所内。
▽木谷宰三(昭7専経)豊中市清風荘二丁目五六と地名が変更。
▽崎山昌彦(昭29短二)大阪市住野区大瀬町一ノ12。
▽塩田好輝(昭32学一法)神戸市垂水区塩屋町五三一。
▽鵜謙三(昭24大経)大阪市住野区新今里六一五〇一。
▽神谷(じんや)孝雄(昭33学一商)和歌山市東徒町12。
▽富田淑郎(昭16専二商)京都府乙訓郡長岡町大字開田小字花山六一四五。
▽中村貞雄(昭31学二史)兵庫県加西郡西町朝妻。
▽中川昭(昭42学二商)大阪市西成区千本通四ノ十二。
▽中野道正(昭26学二政)豊中市野畑二四四府住二〇〇号。
▽永田安雄(昭27学一法)大阪市港区高尾町一ノ52
▽西村登(昭27学一法)豊中市一〇一七・公団住宅旭ケ丘25号館一〇二号室。
▽西山武(昭13専二商)姫路伊伝居馬場先引。関電姫路支局へかわる。
▽深田実三(昭21大法)三重県度会郡小俣町自衛隊官舎内。
▽宮脇勉(昭26専二商)尼崎市穴太二二九。
▽吉田鹿之助(大13専法)京都市北区紫竹東高縄町五四
▽渡辺文夫(昭22工専)大阪府泉北郡泉ケ丘町福田・府住75号

職業変更

▽飯森徳秀(昭11大法)陸上自衛隊富士学校・会計課長=前陸上自衛隊新潟地方連絡部長。静岡県駿東郡小山町須走。
▽片山良一(昭26学二法)布施安定所長。
▽金森幸男(昭27学一法)大阪府税事務所。
▽北野敏彦(昭31学一法)大阪府土木部八尾地方事務所。
▽黒田一男(昭9専二商)大和証券KK梅田支店(支店長)

KT 光洋商事株式会社
一般鋼材鉄鋼半成品の国内販売並に輸出入業 八幡製鉄 富士製鉄 指定問屋
本社 大阪市西区西道頓堀二丁目一番 電話㊥七一五一・四三三番
東京支店 東京都中央区日本橋江戸橋一ノ四 電話千代田(27)九五三一・六番
出張所 八幡・室蘭・釜石・広畑
代表取締役 小寺直三 〃 吉村謙之助

MIYAMAE
大阪市浪速区大国町三丁目二六
宮前産業株式会社
取締役社長 宮前卯之助
専務取締役 宮前邦雄
(昭和十六年卒)
電話戎㊹〇〇六八・八九七一番
松江出張所 松江市母衣町二六番地 電話松江四一三三番

電話一本現場即納
米檜 松矢板 松杭丸太
長さ3尺より80尺まで
在庫豊富
株式会社 中川木材店
代表取締役 中川藤一
(昭17学部商学科卒)
大阪市大正区今木町2の10(大正警察前東入る)
電話㊥0234・3741(夜間㊥2136・2137)

計理士 税理士 指吸千之助
堺事務所 堺市南翁橋町三丁目七二ノ三 電話堺一〇八電三三二七・五四一三番
大阪事務所 大阪市南区末吉橋通四丁目十六(新橋ビル四階四〇八号室) 電話大阪㉕三四六三番

綿羊・獣毛・毛織再生原料
一般紡織原料並に各種フェルト製造及加工販売
東亜フェルト株式会社
代表取締役 臼井隆介
大阪市浪速区恵美須町二ノ五七 電話戎㊹八九四九番

大阪中央卸売市場十六棟
大五水産株式会社
門戸金次郎(昭和二十二年卒)
仁井谷昭一(昭和二十二年卒)
直通電話㊻此花四七九五・四七九六番

弁理士 法学士 鎌田嘉之
大阪市日本橋一丁目・交叉点
電話大阪(64)20 21 22 30 200 2000 2100
宅 大阪市阿倍野区相生通二丁目九六(南海上町線北畠電停北ノ通西入)
電話大阪(65)20 21 22

清涼飲料水製造
有限会社 淀川鉱泉所
代表取締役 清水光蔵(関大千寿会会員)
大阪市福島区鷺洲本通二ノ五六 電話福島㊺三九二三番

細川土地事務所
細川喜与見
大阪市東区淡路町五ノ三九
電話(23)二九九二番